

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 佐賀県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	佐賀県医療センター好生館	2
佐賀市	佐賀市立富士大和温泉病院	3
唐津市	唐津市民病院きたはた	4
多久市	多久市立病院	5
小城市	市民病院	6
太良町	町立太良病院	7
伊万里・有田地区医療福祉組合	伊万里有田共立病院	8

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		佐賀県	
市町村・組合名			
病院名	佐賀県医療センター好生館		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	811,442	
決算規模(千円)	575,733,800	
標準財政規模(千円)	261,464,794	
財政力指数	0.35551	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	120.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,862			
1 経常収益	11,862			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,862			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,862			
2 経常費用	11,862			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,862			
(うち支払利息)	11,862	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名		佐賀市			
病院名		佐賀市立富士大和温泉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,392 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	64.9	76.6	81.9
療養	38	33.3	56.3	50.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	51.4	67.5	67.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.4	20.5	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	233,301	
決算規模(千円)	130,950,436	
標準財政規模(千円)	54,041,763	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,537,263			
1 経常収益	1,535,718			
(1) 医業収益	1,047,554			
入院収益	505,811			
外来収益	452,606			
診療収入計	958,417			
その他医業収益	89,137			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	488,164			
(うち国・都道府県補助金)	220,635			
(うち他会計補助・負担金)	180,441			
(うち長期前受金戻入)	79,754			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,545			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,403,207			
2 経常費用	1,403,207			
(1) 医業費用	1,327,069			
職員給与費	823,920	78.7	62.1	78.9
材料費	150,533	14.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	99,590	9.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,019	4.8	11.4	6.0
減価償却費	100,695	9.6	9.5	11.7
経費	248,361	23.7	22.7	31.2
(うち委託料)	127,888	12.2	12.6	14.3
研究研修費	935			
資産減耗費	2,625			
(2) 医業外費用	76,138			
(うち支払利息)	33,070	3.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	132,511			
純損益	134,056			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.4		101.9	100.3
医業収支比率	78.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	94.0		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,886,461
1 固定資産	1,514,099
(1) 有形固定資産	1,514,099
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,372,362
(1) 現金及び預金	1,159,016
(2) 未収金及び未収収益	206,509
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,837
3 繰延資産	-
負債合計	2,046,538
1 固定負債	1,399,800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,399,800
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	290,846
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	174,004
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,181
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,810
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	355,892
(1) 長期前受金	2,440,204
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,084,312
資本合計	839,923
1 資本金	128,800
2 剰余金	711,123
(1) 資本金剰余金	107,892
(2) 利益剰余金	603,231
負債・資本合計	2,886,461
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.2
修正医業収益(千円)	1,011,260

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,257	216,735
資本勘定繰入	108,408	112,843
計	323,665	329,578

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	唐津市				
病院名	唐津市民病院きたはた				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,573 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	56	74.1	79.7	81.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	74.1	79.7	81.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	117,373	
決算規模(千円)	88,985,943	
標準財政規模(千円)	34,350,549	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	112.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.0
修正医業収益(千円)	451,617

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	599,275			
1 経常収益	599,275			
(1) 医業収益	491,305			
入院収益	305,382			
外来収益	121,094			
診療収入計	426,476			
その他医業収益	64,829			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	107,970			
(うち国・都道府県補助金)	19,473			
(うち他会計補助・負担金)	63,766			
(うち長期前受金戻入)	17,976			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	638,712			
2 経常費用	635,642			
(1) 医業費用	610,532			
職員給与費	387,352	78.8	62.1	78.9
材料費	37,227	7.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	8,062	1.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,408	5.0	11.4	6.0
減価償却費	43,119	8.8	9.5	11.7
経費	141,345	28.8	22.7	31.2
(うち委託料)	63,963	13.0	12.6	14.3
研究研修費	279			
資産減耗費	1,210			
(2) 医業外費用	25,110			
(うち支払利息)	9,765	2.0	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,070			
損益				
経常損益	-36,367			
純損益	-39,437			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.3		101.9	100.3
医業収支比率	80.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	21.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,590,143
1 固定資産	978,318
(1) 有形固定資産	955,474
(2) 無形固定資産	22,844
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	611,825
(1) 現金及び預金	535,107
(2) 未収金及び未収収益	76,026
(3) 貸倒引当金()	1,349
(4) 貯蔵品	2,041
3 繰延資産	-
負債合計	926,253
1 固定負債	577,902
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	415,055
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	162,847
(7) リース債務	-
2 流動負債	108,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,186
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,252
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	57,574
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	239,526
(1) 長期前受金	463,434
(2) 長期前受金収益化累計額()	223,908
資本合計	663,890
1 資本金	137,639
2 剰余金	526,251
(1) 資本金剰余金	177,223
(2) 利益剰余金	349,028
負債・資本合計	1,590,143
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	103,454	103,454
資本勘定繰入	14,292	14,292
計	117,746	117,746

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	多久市				
病院名	多久市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,363 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	56.0	60.8	77.3
療養	45	41.8	67.5	48.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	49.9	63.6	65.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	18.3	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	18,295	
決算規模(千円)	16,255,360	
標準財政規模(千円)	5,985,934	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	100.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,368,713			
1 経常収益	1,368,713			
(1) 医業収益	1,195,163			
入院収益	579,354			
外来収益	554,620			
診療収入計	1,133,974			
その他医業収益	61,189			
(うち他会計負担金)	39,717			
(2) 医業外収益	173,550			
(うち国・都道府県補助金)	4,919			
(うち他会計補助・負担金)	126,448			
(うち長期前受金戻入)	19,045			
(うち資本費繰入収益)	19,275			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,477,288			
2 経常費用	1,477,288			
(1) 医業費用	1,418,838			
職員給与費	691,165	57.8	62.1	67.4
材料費	391,019	32.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	306,683	25.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	80,098	6.7	11.4	8.8
減価償却費	86,011	7.2	9.5	10.7
経費	243,506	20.4	22.7	29.2
(うち委託料)	136,382	11.4	12.6	13.9
研究研修費	1,729			
資産減耗費	5,408			
(2) 医業外費用	58,450			
(うち支払利息)	476	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-108,575			
純損益	-108,575			
累積欠損金	221,640			
経常収支比率	92.7		101.9	100.3
医業収支比率	84.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	81.4		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,696,243
1 固定資産	1,000,823
(1) 有形固定資産	997,142
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	695,420
(1) 現金及び預金	453,575
(2) 未収金及び未収収益	228,372
(3) 貸倒引当金()	676
(4) 貯蔵品	14,149
3 繰延資産	-
負債合計	813,076
1 固定負債	396,172
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	173,468
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	180,209
(7) リース債務	42,495
2 流動負債	296,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,145
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,635
(6) リース債務	9,490
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	127,394
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	120,767
(1) 長期前受金	254,052
(2) 長期前受金収益化累計額()	133,285
資本合計	883,167
1 資本金	1,104,807
2 剰余金	-221,640
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-221,640
負債・資本合計	1,696,243
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.4
修正医業収益(千円)	1,155,446

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,480	166,165
資本勘定繰入	21,136	21,596
計	186,616	187,761

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	小城市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,538 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	41.6	56.2	59.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	41.6	56.2	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	17.6	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	43,952	
決算規模(千円)	26,348,276	
標準財政規模(千円)	12,083,791	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.3
修正医業収益(千円)	783,935

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,606,080			
1 経常収益	1,576,080			
(1) 医業収益	821,926			
入院収益	450,277			
外来収益	295,120			
診療収入計	745,397			
その他医業収益	76,529			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	754,154			
(うち国・都道府県補助金)	602,291			
(うち他会計補助・負担金)	107,208			
(うち長期前受金戻入)	38,678			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,207,448			
2 経常費用	1,207,448			
(1) 医業費用	1,182,284			
職員給与費	758,098	92.2	62.1	78.9
材料費	96,330	11.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	38,733	4.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,418	6.7	11.4	6.0
減価償却費	67,654	8.2	9.5	11.7
経費	180,221	21.9	22.7	31.2
(うち委託料)	75,520	9.2	12.6	14.3
研究研修費	78,980			
資産減耗費	1,001			
(2) 医業外費用	25,164			
(うち支払利息)	3,787	0.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	368,632			
純損益	398,632			
累積欠損金	-			
経常収支比率	130.5		101.9	100.3
医業収支比率	69.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	118.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,290,570
1 固定資産	597,010
(1) 有形固定資産	590,912
(2) 無形固定資産	6,098
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,693,560
(1) 現金及び預金	1,569,054
(2) 未収金及び未収収益	121,061
(3) 貸倒引当金()	252
(4) 貯蔵品	3,697
3 繰延資産	-
負債合計	751,973
1 固定負債	438,037
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,595
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	323,445
(7) リース債務	11,997
2 流動負債	113,453
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,862
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,756
(6) リース債務	3,788
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,047
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	200,483
(1) 長期前受金	432,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	232,445
資本合計	1,538,597
1 資本金	1,217,544
2 剰余金	321,053
(1) 資本金剰余金	77,887
(2) 利益剰余金	243,166
負債・資本合計	2,290,570
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,199	145,199
資本勘定繰入	23,926	19,429
計	169,125	164,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	太良町				
病院名	町立太良病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,164 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	74.3	83.0	76.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	74.3	83.0	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	18.7	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	8,121	
決算規模(千円)	9,038,889	
標準財政規模(千円)	3,388,693	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,360,690			
1 経常収益	1,340,396			
(1) 医業収益	928,758			
入院収益	609,390			
外来収益	246,910			
診療収入計	856,300			
その他医業収益	72,458			
(うち他会計負担金)	35,969			
(2) 医業外収益	411,638			
(うち国・都道府県補助金)	139,990			
(うち他会計補助・負担金)	116,373			
(うち長期前受金戻入)	71,343			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,294			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,193,572			
2 経常費用	1,179,272			
(1) 医業費用	1,056,717			
職員給与費	597,244	64.3	62.1	78.9
材料費	119,004	12.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	42,303	4.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,701	8.3	11.4	6.0
減価償却費	136,826	14.7	9.5	11.7
経費	200,878	21.6	22.7	31.2
(うち委託料)	65,275	7.0	12.6	14.3
研究研修費	1,616			
資産減耗費	1,149			
(2) 医業外費用	122,555			
(うち支払利息)	22,180	2.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	14,300			
損益				
経常損益	161,124			
純損益	167,118			
累積欠損金	-			
経常収支比率	113.7		101.9	100.3
医業収支比率	87.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	100.7		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,020,093
1 固定資産	1,232,481
(1) 有形固定資産	1,232,481
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,787,612
(1) 現金及び預金	1,578,110
(2) 未収金及び未収収益	202,717
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,785
3 繰延資産	-
負債合計	1,456,593
1 固定負債	1,105,607
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	956,853
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	148,754
(7) リース債務	-
2 流動負債	166,134
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,165
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,210
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	62,395
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	184,852
(1) 長期前受金	634,876
(2) 長期前受金収益化累計額()	450,024
資本合計	1,563,500
1 資本金	1,343,814
2 剰余金	219,686
(1) 資本金剰余金	36,672
(2) 利益剰余金	183,014
負債・資本合計	3,020,093
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.5
修正医業収益(千円)	892,789

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	152,342	152,342
資本勘定繰入	61,835	61,835
計	214,177	214,177

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	伊万里・有田地区医療福祉組合				
病院名	伊万里有田共立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,283 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	202	67.5	77.5	78.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	3.4	-	-
計	206	66.3	76.0	77.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	14.8	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	325	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	73.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,274,622			
1 経常収益	4,229,230			
(1) 医業収益	3,169,185			
入院収益	2,442,626			
外来収益	530,845			
診療収入計	2,973,471			
その他医業収益	195,714			
(うち他会計負担金)	57,861			
(2) 医業外収益	1,060,045			
(うち国・都道府県補助金)	619,415			
(うち他会計補助・負担金)	276,097			
(うち長期前受金戻入)	150,814			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45,392			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,827,501			
2 経常費用	3,827,501			
(1) 医業費用	3,665,901			
職員給与費	2,052,896	64.8	62.1	66.1
材料費	514,946	16.2	25.3	19.8
(うち薬品費)	226,070	7.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	282,179	8.9	11.4	9.3
減価償却費	234,829	7.4	9.5	10.2
経費	850,537	26.8	22.7	28.2
(うち委託料)	453,249	14.3	12.6	13.6
研究研修費	6,404			
資産減耗費	6,289			
(2) 医業外費用	161,600			
(うち支払利息)	38,728	1.2	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	401,729			
純損益	447,121			
累積欠損金	136,719			
経常収支比率	110.5		101.9	99.9
医業収支比率	86.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	101.8		89.3	86.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,650,809
1 固定資産	4,652,405
(1) 有形固定資産	4,485,335
(2) 無形固定資産	4,449
(3) 投資その他の資産	162,621
2 流動資産	998,404
(1) 現金及び預金	242,031
(2) 未収金及び未収収益	743,268
(3) 貸倒引当金()	9,299
(4) 貯蔵品	22,404
3 繰延資産	-
負債合計	4,178,034
1 固定負債	2,317,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,229,705
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	84,800
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,852
2 流動負債	542,968
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	171,265
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,394
(5) 引当金	145,229
(6) リース債務	11,457
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	170,212
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,317,709
(1) 長期前受金	2,236,770
(2) 長期前受金収益化累計額()	919,061
資本合計	1,472,775
1 資本金	1,291,446
2 剰余金	181,329
(1) 資本金剰余金	318,048
(2) 利益剰余金	-136,719
負債・資本合計	5,650,809
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.9
修正医業収益(千円)	3,111,324

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	686,373	333,958
資本勘定繰入	104,276	104,276
計	790,649	438,234

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。